



## 平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月15日

上場会社名 日本乾溜工業株式会社

上場取引所 福

コード番号 1771 URL <http://www.kanryu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 沢井 博美

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 池田 秀孝

TEL 092-632-1050

四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	7,416	△12.4	516	△22.3	522	△21.8	512	△21.7
23年9月期第2四半期	8,466	△3.7	663	△32.3	667	△31.9	655	△31.3

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 559百万円 (△19.6%) 23年9月期第2四半期 695百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	103.32	42.01
23年9月期第2四半期	145.73	50.45

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第2四半期	8,984	3,106	34.6	424.20
23年9月期	6,193	2,581	41.7	314.59

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 3,106百万円 23年9月期 2,581百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

・23年9月期期末配当金の内訳 普通配当2円00銭 記念配当1円00銭

### 3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,150	△9.6	225	△50.4	230	△51.3	200	△55.9	36.25

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の1株当たり当期純利益は、優先株式の配当金が未定のため、23年9月期の優先株式の配当年率を使用した配当金を当期純利益から控除し、算出しております。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	5,102,000 株	23年9月期	5,102,000 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	136,762 株	23年9月期	136,762 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	4,965,238 株	23年9月期2Q	4,495,046 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考情報)

種類株式の配当の状況

普通株式と権利の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金の総額は、以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第1回優先株式					
23年9月期	—	0 00	—	10 00	10 00
24年9月期	—	0 00			
24年9月期(予想)			—	未定	未定

(注) 24年9月期の予想につきましては、配当年率が平成24年10月1日の日本円TIBOR(6ヶ月物)に1.5%を加えた率によるため、現時点では未定とさせていただきます。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年10月1日～平成24年3月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況の中で、企業収益は減少しているものの個人消費が底堅く推移し、設備投資も持ち直しの動きが見られることなど緩やかに持ち直してまいりました。

当社グループが主力とする建設業界におきましては、平成23年度第3次及び第4次補正予算により、公共投資関係費は前年を上回るなど公共投資全般では底堅い動きとなりましたが、震災復興関連以外の公共投資、特に九州地区の公共投資については前年度を下回り、厳しい市場環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、「3カ年経営計画」の最終年度にあたり、受注高の確保、徹底したコスト管理を実施することで、目標利益の達成に向けて全社をあげて取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は74億16百万円(前年同四半期比12.4%減、10億50百万円減)、営業利益は5億16百万円(同22.3%減、1億47百万円減)、経常利益は5億22百万円(同21.8%減、1億45百万円減)、四半期純利益は5億12百万円(同21.7%減、1億42百万円減)となりました。

なお、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主力事業である建設事業の通常の営業形態として、売上高が第2四半期連結会計期間に集中する傾向があります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (建設事業)

建設事業における工事につきましては、東日本大震災による政府の予算執行の一時凍結や昨年4月の統一地方選挙の実施に伴う官公庁発注の遅れなどの影響を受け、前年同四半期と比べて前期末からの繰越工事が少なかったことにより、完成工事高は前年同四半期を下回りました。また、建設工事関連の資材の販売につきましても官公庁の発注遅れなどの影響を受け、低調に推移しました。

以上の結果、建設事業の売上高は61億98百万円(前年同四半期比17.6%減、13億27百万円減)、セグメント利益は5億69百万円(同20.9%減、1億50百万円減)となりました。

## (防災安全事業)

防災安全事業につきましては、営業強化を図ってきたことに加え、東日本大震災の経験を機に、自然災害に備える意識が高まり、官公庁を中心に災害備蓄用の機材や食糧品の需要が増えたことにより防災用品の販売が増加しました。

以上の結果、防災安全事業の売上高は9億22百万円(前年同四半期比40.2%増、2億64百万円増)、セグメント利益は53百万円(同31.0%増、12百万円増)となりました。

## (化学品事業)

化学品事業につきましては、売上高は2億94百万円(前年同四半期比4.7%増、13百万円増)となりましたが、原油価格の高騰により原材料の値上げが響き利益率が低下し、セグメント利益は74百万円(同13.7%減、11百万円減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、89億84百万円（前連結会計年度末比45.1%増、27億90百万円増）となりました。

資産につきましては流動資産が63億65百万円（同76.8%増、27億64百万円増）となりました。その主な要因は、第2四半期連結会計期間の特有の傾向として売掛金・完成工事未収入金の残高が前連結会計年度末と比較して増加する傾向にあることから売掛金・完成工事未収入金が22億74百万円増加したことに加え、資金の効率的な運用により受取手形が6億91百万円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、26億18百万円（同1.0%増、26百万円増）となりました。

負債につきましては、58億77百万円（同62.8%増、22億66百万円増）となりました。その主な要因は、第2四半期連結会計期間に売上高が集中するために仕入債務が22億57百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、31億6百万円（同20.3%増、5億24百万円増）となりました。その主な要因は、四半期純利益を5億12百万円計上したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、11億円（前年同四半期比10.4%減、1億27百万円減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億5百万円の資金の減少となりました（前年同四半期は4億5百万円の資金増加）。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益を5億20百万円計上したことにより資金が増加しましたが、完成工事高が3月に集中したことで売上債権が29億63百万円増加、仕入債務が22億57百万円増加したために資金が7億5百万円減少したことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、40百万円の資金の減少となりました（前年同四半期は15百万円の資金の減少）。その主な要因は、不溶性硫黄製造設備の維持更新費用等の支払いにより42百万円資金が減少したことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、21百万円の資金の減少となりました（前年同四半期は2億40百万円の資金の減少）。その主な要因は、短期借入金の増加により資金が1億円増加しましたが、長期借入金の返済により71百万円、株主配当金の支払いにより34百万円、リース債務の支払いにより14百万円資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの第2四半期連結累計期間(平成23年10月1日から平成24年3月31日まで)の業績につきましては、主力であります建設事業が東日本大震災による政府の予算執行の一時凍結や昨年4月の統一地方選挙の実施に伴う官公庁の発注遅れなどの影響を受け大変厳しいものになると予想しておりましたが、全社一丸となって営業に邁進した結果、売上高につきましては当初計画を上回ることができました。また、利益面につきましては、原価管理の徹底と一般管理費の削減を図るとともに、政府による中小企業対策などの政策効果と債権管理の徹底により与信費用が減少したことで当初計画に比べて改善することができました。

以上のことから第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第3四半期以降の計画の見直しを行った結果、平成23年11月16日に発表いたしました通期業績予想を上記の通り、連結・個別ともに上方修正しております。

業績予想の修正については、本日(平成24年5月15日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,258,021	1,090,710
受取手形・完成工事未収入金等	2,054,003	5,020,401
有価証券	10,129	10,133
未成工事支出金	154,392	102,503
商品及び製品	105,535	137,328
仕掛品	7,939	9,605
原材料及び貯蔵品	8,109	9,730
その他	15,065	17,393
貸倒引当金	△12,270	△32,080
流動資産合計	3,600,925	6,365,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	635,285	632,886
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	74,189	68,406
土地	1,116,688	1,116,688
その他(純額)	18,198	15,774
有形固定資産合計	1,844,362	1,833,755
無形固定資産		
のれん	22,283	18,569
その他	110,361	97,705
無形固定資産合計	132,644	116,275
投資その他の資産		
投資有価証券	416,120	470,949
差入保証金	185,825	186,623
その他	94,009	87,469
貸倒引当金	△80,537	△76,601
投資その他の資産合計	615,417	668,440
固定資産合計	2,592,424	2,618,471
資産合計	6,193,350	8,984,199



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,085,136	4,342,913
短期借入金	246,420	338,920
未払法人税等	18,613	13,958
未成工事受入金	99,025	138,434
賞与引当金	71,500	50,653
役員賞与引当金	9,648	—
株主優待引当金	3,050	—
その他	186,929	188,923
流動負債合計	2,720,324	5,073,804
固定負債		
長期借入金	355,650	291,190
退職給付引当金	425,418	407,521
繰延税金負債	25,244	35,135
その他	84,716	70,305
固定負債合計	891,029	804,152
負債合計	3,611,353	5,877,956
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	413,675	413,675
資本剰余金	694,394	694,394
利益剰余金	1,443,530	1,921,620
自己株式	△17,788	△17,788
株主資本合計	2,533,811	3,011,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,185	94,341
その他の包括利益累計額合計	48,185	94,341
純資産合計	2,581,997	3,106,242
負債純資産合計	6,193,350	8,984,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	8,466,076	7,416,008
売上原価	7,043,011	6,134,865
売上総利益	1,423,064	1,281,142
販売費及び一般管理費	759,227	765,126
営業利益	663,836	516,015
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,338	3,712
受取賃貸料	2,930	3,050
受取手数料	1,702	2,245
雑収入	4,329	3,383
営業外収益合計	13,300	12,390
営業外費用		
支払利息	7,529	5,635
その他	2,112	673
営業外費用合計	9,642	6,308
経常利益	667,495	522,098
特別利益		
固定資産売却益	—	166
特別利益合計	—	166
特別損失		
固定資産除却損	—	133
投資有価証券評価損	1,700	—
投資有価証券売却損	—	379
会員権評価損	—	1,230
特別損失合計	1,700	1,743
税金等調整前四半期純利益	665,795	520,522
法人税、住民税及び事業税	9,306	8,468
法人税等調整額	1,425	△932
法人税等合計	10,731	7,536
少数株主損益調整前四半期純利益	655,063	512,985
四半期純利益	655,063	512,985

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	655,063	512,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,264	46,155
その他の包括利益合計	40,264	46,155
四半期包括利益	695,328	559,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	695,328	559,140
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	665,795	520,522
減価償却費	46,345	48,168
のれん償却額	3,713	3,713
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,680	15,874
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△32,257	△17,896
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,271	△20,847
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,470	△9,648
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△2,880	△3,050
固定資産除却損	—	133
固定資産売却損益 (△は益)	—	△166
受取利息及び受取配当金	△4,338	△3,712
支払利息	7,529	5,635
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,700	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	379
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,646,821	△2,963,113
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△203,603	39,408
たな卸資産の増減額 (△は増加)	198,894	16,808
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,453,130	2,257,777
その他	△40,892	20,882
小計	423,253	△89,130
利息及び配当金の受取額	4,339	3,712
利息の支払額	△7,303	△5,150
法人税等の支払額	△15,000	△15,121
営業活動によるキャッシュ・フロー	405,289	△105,689
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△13,795	△42,960
有形固定資産の売却による収入	—	190
無形固定資産の取得による支出	△1,311	—
投資有価証券の取得による支出	△2,368	△2,661
投資有価証券の売却による収入	—	3,500
貸付金の回収による収入	1,804	1,509
その他	—	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,669	△40,471

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△86,060	△71,960
リース債務の返済による支出	△14,281	△14,281
自己株式の取得による支出	△115,050	—
自己株式の処分による収入	110,250	—
配当金の支払額	△35,083	△34,905
その他	△75	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240,300	△21,146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	149,318	△167,306
現金及び現金同等物の期首残高	1,079,051	1,268,151
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,228,370	1,100,844

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,526,516	658,137	281,422	8,466,076	—	8,466,076
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5	—	5	△5	—
計	7,526,516	658,142	281,422	8,466,081	△5	8,466,076
セグメント利益	719,531	40,703	86,857	847,093	△183,256	663,836

(注) 1. セグメント利益の調整額△183,256千円は、報告セグメントに配分していない全社費用△183,256千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,198,825	922,546	294,636	7,416,008	—	7,416,008
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	55	—	55	△55	—
計	6,198,825	922,602	294,636	7,416,063	△55	7,416,008
セグメント利益	569,309	53,332	74,924	697,566	△181,551	516,015

(注) 1. セグメント利益の調整額△181,551千円は、報告セグメントに配分していない全社費用△181,551千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 平成24年9月期第2四半期（中間期）決算概要

### 1. 経営成績

#### 1) 連結損益計算書

(単位：百万円、%)

勘定科目 \ 期別	当第2四半期 平成24年3月	前第2四半期 平成23年3月	増減	増減率	
売上高	7,416	8,466	△1,050	△12.4	2期連続の減収
営業利益	516	663	△147	△22.3	2期連続の減益
経常利益	522	667	△145	△21.8	2期連続の減益
四半期純利益	512	655	△142	△21.7	2期連続の減益
一株当たり四半期純利益	103円32銭	145円73銭	△42円41銭	△29.1	

当社グループの連結第2四半期業績（平成23年10月1日～平成24年3月31日）につきましては、主力であります建設事業が、東日本大震災による政府の予算執行の一時凍結や昨年4月の統一地方選挙の実施に伴う官公庁の発注遅れなどの影響を受け、期首の工事受注残高が例年と比べ少なかったことにより、完成工事高は前年同期を下回る結果となりました。また、建設工事関連の資材の販売につきましても官公庁の発注遅れなどの影響を受け、低調に推移しました。この結果、建設事業の売上高は61億98百万円（前年同期比17.6%減、13億27百万円減）となりました。

防災安全事業につきましては、営業強化を図ってきたことに加え、東日本大震災の経験を機に、自然災害に備える意識が高まり、官公庁を中心に災害備蓄用の機材や食糧品の需要が増えたことにより防災用品の販売が増加した結果、防災安全事業の売上高は9億22百万円（前年同期比40.2%増、2億64百万円増）となりました。

化学品事業につきましては、売上高は2億94百万円（前年同期比4.7%増、13百万円増）となりました。

以上の結果、当連結第2四半期の業績は、売上高74億16百万円（前年同期比12.4%減、10億50百万円減）、営業利益は5億16百万円（同22.3%減、1億47百万円減）、経常利益は5億22百万円（同21.8%減、1億45百万円減）、四半期純利益は5億12百万円（同21.7%減、1億42百万円減）となりました。

なお、当初の予想通り大変厳しい経営環境下ではありましたが、全社一丸となって営業に邁進した結果、売上高につきましては、当初計画を上回ることができました。

また、利益面につきましては、原価管理の徹底と一般管理費の削減を図るとともに、政府による中小企業対策などの政策効果と債権管理の徹底により与信費用が減少したことで、当初計画に比べて改善することができました。

#### 2) 第2四半期連結業績（計画比）

(単位：百万円、%)

勘定科目 \ 区分	当第2四半期 平成24年3月	計 画	増 減	増減率
売上高	7,416	7,365	51	0.7
営業利益	516	430	86	20.0
経常利益	522	420	102	24.3
四半期純利益	512	410	102	25.1

2. 平成 24 年 9 月期見通し (平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

1) 連結業績予想

(単位：百万円、%)

勘定科目	区 分	今回発表 (平成24年5月15日)	前回発表 (平成23年11月16日)	増 減	増減率
売 上 高		11,150	11,000	150	1.4
営 業 利 益		225	160	65	40.6
経 常 利 益		230	148	82	55.4
当 期 純 利 益		200	130	70	53.8

2) 個別業績予想

(単位：百万円、%)

勘定科目	区 分	今回発表 (平成24年5月15日)	前回発表 (平成23年11月16日)	増 減	増減率
売 上 高		10,900	10,700	200	1.9
経 常 利 益		215	135	80	59.3
当 期 純 利 益		190	120	70	58.3

当社グループの通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間(平成23年10月1日から平成24年3月31日まで)までの業績を踏まえ、第3四半期以降の計画の見直しを行なった結果、平成23年11月16日に発表した通期業績予想を上記の通り連結・個別ともに上方修正することといたしました。

3. その他

別添「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以 上